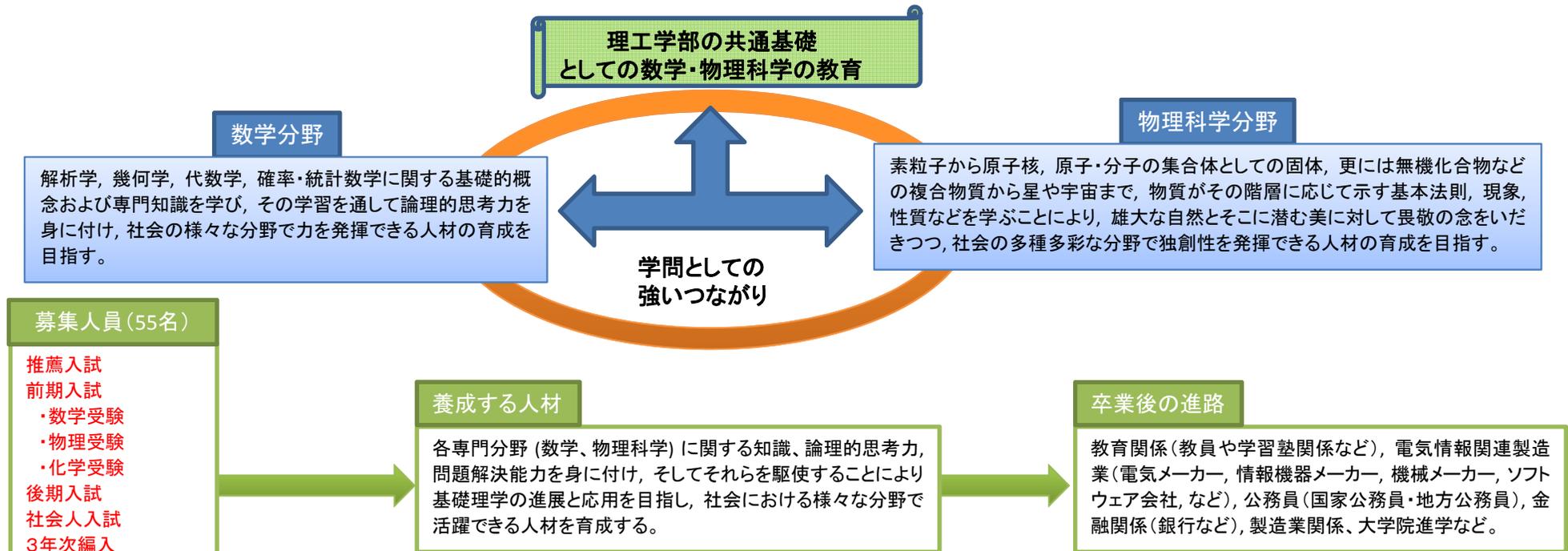


数学物理学科の概要

学科改組の趣旨

数学と物理学は自然科学を支える重要な分野として一般に認識されている。歴史的に見てみると数学は物理学から動機付けを与えられて発展してきたことがあり、そしてまた物理学は数学の言葉を用いて記述されるということを考えると、数学と物理学は学問としても強いつながりを持つ。

自然科学の基盤をなす両分野が同一学科に配置されることは、両分野の理解を相乗的に高める効果をもたらすとともに、理工学部の共通基礎としての数学・物理科学の教育や、基礎科学の継承とその発展に寄与することができる。



アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー
<p>数や図形などの数学的対象、自然の本質的現象や法則に興味をもち、基礎理学として数学または物理学を学びたい学生、さらにこれらのいずれかを核として学びつつ他の分野についても知見を広めたい学生を受け入れる。</p>	<p>数学コースでは、論理的思考力や問題解決能力を涵養し、身に付けた力を社会の様々な分野で十分に発揮できる人材を育成するためのカリキュラムを編成する。物理科学コースでは、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などの自然の本質を理解しつつ実生活に応用できる人材を育成するためのカリキュラムを編成する。</p>	<p>数学的・論理的な判断ができ、正しい自然観に基づき現象や問題を捉え、課題や問題を的確に表現し、持てる知識を適切に応用して問題を解決していく態度を涵養する。</p>